

## 1 週間の時間割例

### [3 年次 (前学期)] 海事工学系 海技士を目指す場合

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	運航管理		航海システムⅡ		制御工学
2	航海英語Ⅰ	文学	機械学習	海事法規	海事システム工学ゼミナールⅡ
3		海事システム工学実験演習	計測工学Ⅱ	水中考古学	海事システム工学実験演習
4		海事システム工学実験演習	海商法	Interactive EnglishⅠ	海事システム工学実験演習
5	船舶運航論	海事システム工学実験演習			海事システム工学実験演習

### [3 年次 (後学期)] 船舶管理系 海技士を目指す場合

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	浮体運動論	船体管理	航海システムⅢ		歴史学
2	組織管理論		保険契約法		海事システム工学ゼミナールⅢ
3		海事システム工学実験演習	数値解析	国際輸送実務論	海事システム工学実験演習
4	航海英語Ⅱ	海事システム工学実験演習	輸送管理	Interactive EnglishⅡ	海事システム工学実験演習
5		海事システム工学実験演習	海運実務論	船用工業実務論	海事システム工学実験演習

## 取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状(商船・工業)
- 船舶衛生管理者※2
- 第一級海上特殊無線技士
- 電子海図情報表示装置(ECDIS)講習の資格※3
- 三級海技士(航海)※1

※1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び乗船実習科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

※2 乗船実習科(p.43)を修了後、講習受講により取得できます。

※3 三級海技士に合格することで、電子海図情報表示装置(ECDIS)搭載船舶に乗船できる資格を取得できます。

## 卒業後の進路

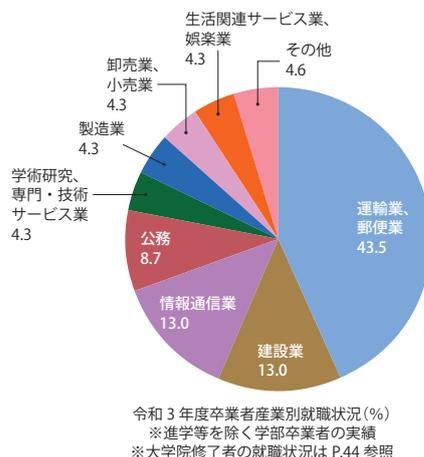
令和3年度卒業生(%)

大学院進学	8.5
乗船実習科進学	54.9
就職	32.4
その他	4.2

## 就職先

飯野海運、出光タンカー、NS ユナイテッド海運、NTT コミュニケーションズ、NTT データウェア、NTT データフィナンシャルテクノロジー、NTT ワールドエンジニアリングマリン、海技教育機構、海上保安庁、鹿児島海運、川崎汽船、川崎近海汽船、共栄タンカー、光電製作所、航空自衛隊、国土交通省、山九、ENEOS オーシャン、ジャパンマリンユナイテッド、商船三井、商船三井客船、新来島どつく、新日本海フェリー、全日本空輸、ダイトーコーポレーション、東洋エンジニアリング、東洋信号通信社、田淵海運、中央システム、日本海事協会、日本海事検定協会、日本海難防止協会、日本海洋掘削、日本テレビ、日本郵船、日立情報通信エンジニアリング、ロジスティード、ビューロベリタス(フランス船級協会)、ユニバーサルコンピュータシステム 等

## 就職先業種



## 学科担当教員の研究分野・内容

### ■ 知能システム

知的なマルチエージェントを用いた海上交通流シミュレーションシステムや自律型の水中ロボット開発などの研究

### ■ 航行システム工学

航法および航行支援のための装置やシステムに関する研究

### ■ 航海システム論

情報通信技術等を利用した運航支援および支援システムに関する研究

### ■ 最適航路計画論

気象海象を予測して船舶の運航性能を推定し、最適な航路計画を行う研究

### ■ 制御理論、信頼性・安全性工学

制御システム、特に制御ロジックの安全性解析・設計に関する研究

### ■ 電子情報工学

ソフトウェア・ハードウェアを通じた画像処理技術の研究

### ■ 誘導制御論

船舶を中心とした各種ビークルの運動解析・予測・制御に関する研究

### ■ 海洋気象学

大気と海洋の運動や相互作用に関する物理学的研究

### ■ 船舶工学

船舶の構造と安定性、船体の運動における抵抗と推進に関する研究

### ■ 人間機械系工学

船舶運航者の情報処理と行動特性に適した船舶運航環境の構築に関する研究

### ■ 衛星測位工学

高精度位置決定に関する研究

### ■ 海洋文化学

海の人類学、考古学、歴史学の研究

### ■ 民法法学

保険法の研究

### ■ 国際法学・海事法学

国際法、海事法よりみた海洋、海運、船員に関する法的な研究

### ■ 言語情報学

自然言語の音声・統語・意味構造の科学的解明と英語教育への応用